

連邦法およびカリフォルニア州法に基づく医療プライバシーの権利

2014年5月、出版物番号 CM47.15

1. 私には、自分の医療情報のプライバシーに関する権利がありますか？

はい。一般に、あなたの健康に関する情報の開示には、あなたからの事前承諾が必要です。しかしながら、例外が多数あります。

2. 保護されている私の健康情報を開示するためには、どうやって承諾を与えるのですか？

承認用紙への署名により、承諾できます。連邦のHIPAA法（健康保険の携行性と責任に関する法律）およびカリフォルニア州法におけるプライバシー規定では、承認用紙に特定の事項を含むことが義務づけられています。

まず最初に、用紙には次の情報が含まれていなければなりません。

1. 情報提供者または情報提供機関の名前または説明（これには「ジョーンズ医師」のような特定の氏名の場合もあれば、「関係者」や「全医療提供者」などの広範な説明の場合もあります。）
2. 情報を受け取る人物または機関の名前または説明（これには「ジョーンズ医師」のような特定の氏名の場合もあれば、「関係者」や「全医療提供者」のような広範な説明の場合もあります。）

3. 開示したい情報の表記(これには、「2010年6月5日付けの医療レポート」のような具体的な表記の場合もあれば、「経過記録」や「全医療情報」などの一般的な表記の場合もあります。)
4. 情報の使用または開示目的の説明(これには、「ジョーンズ医師から助言の提供を得るため」というような具体的な理由の場合もあれば、「私の依頼により」というような一般的理由の場合もあります。)

要は、用紙があなたが開示したい事項より、多すぎず少なすぎず、ぴったり合うようにすることです。

また、承認用紙は、あなたに次のことを知らせる必要があります。

1. HIPAAの対象となる個人または機関は、例外が適用される場合を除き、あなたが承認用紙に署名するかいなかによって、給付に関する処遇、支払い、登録、資格に条件を課すことはできないことを通知する。
2. 承認は自由意思によるものであることを通知する。
3. 書面による通知により承認を取り消す権利があることを、取り消す権利のすべての例外と合わせて通知する。
4. 承認の写しを受け取る権利があることを通知する。
5. 承認に従って開示された情報は情報の受け手により再開示の対象になる可能性があること、もはやHIPAA法による保護の対象にはならないことを通知する。(注記:カリフォルニア州では、情報の受け手が当該情報を再開示することはできません。)

最後に、承認用紙を有効にするには、次の事項の記載も義務づけられます。

1. 満期日。(例:「1995年6月20日」または「本承認の日付から1年間」。)
2. あなたの署名。または、次のようなあなたの代理人の署名。:
 - a. あなたのヘルスケア代理人。ヘルスケアに関し、永続的委任状に基づいて代理人を指定している場合。
 - b. あなたの保護者または後見人。当該保護者または後見人に、あなたのためにヘルスケアに関する決定を行う権限が与えられている場合。
 - c. あなたの親または保護者。あなたが未成年者で医療を承諾する能力をもたない場合。
3. 今日の日付。

精神療法記録は別個の開示が必要とされます。いずれの場合においても、機密を保護するため、各ヘルスケア提供者に関し、別個の開示用紙を使用するのが最善です。

3. HIPAA 法の対象となるのは、誰ですか？

連邦法の下では、次の機関が HIPAA 法の遵守を義務づけられています。

- ヘルスケア提供者。ヘルスケアを提供する、または支払い請求を行ったり、支払いを受けるあらゆる人または機関。かつ、日常の業務過程で、以下の医療情報を電子的に送信している提供者—ヘルスケア明細書や同等の治療情報、ヘルスケア支払いおよび送金通知書、給付調整、ヘルスケア明細書の現状、健康保険への加入または解除、健康保険への加入資格、健康保険料支払い、紹介認証と承認。
- 健康保険。医療を提供する、または費用を支払うあらゆる個人または団体（またはその組み合わせ）向けの健康保険
- ヘルスケア清算機関。ほかの機関のためにデータ内容またはフォーマットを非標準から標準、またはその逆に返還するあらゆる機関。

参照 45 C.F.R. §§ 160.102;164.103; 164.500;162.1101–162.1802

4. 私の承諾無しに私の医療情報が開示されることがありますか？

はい。開示される場合があります。主な場合は、以下の通りです。

州法により、開示が義務づけられている場合。

州法による要求があれば、保護されている医療情報を開示できます。

以下は、その2つの例です。

- 州法においては、ランターマン＝ペトリス＝ショート法および特定の州および地方自治体の健康および発達障害プログラムの下で精神医療サービスを提供する場合、その過程で入手した情報および記録を「司法行政の必要に応じて、裁判所に」提供することが義務づけられています。Welfare and Institutions Code Section 5328(f)。
- 州法は、特定のヘルスケアおよび社会奉仕提供者による児童虐待、高齢者虐待、支援を必要とする成人への虐待を報告することを義務づけています。

開示義務をもつ治療、支払い、またはヘルスケア業務

さらに、HIPAA は開示義務への承諾に、大変広範な例外を提供しています。HIPAA 法は次の3つの目的で、承諾無しの開示を許可しています。

1. 治療
2. 支払い
3. ヘルスケア業務

これは、あなたの医師があなたの治療について他の医師と相談できることを意味します。また、あなたのヘルスケア提供者が、医療提供者への支払いのために報告書を必要とする場合に、あなたに関する医療報告書を保険会社に送ることができるということも意味します。また、あなたの医療提供者があなたのヘルスケアに関する情報を、品質改善や医療適正審査などのヘルスケア業務の目的で使用することもできます。

危害予防のための開示

HIPAA 法は、対象機関が精神療法記録などの公共保健情報を開示することを許可しています。当該の対象機関が、当該情報の使用や開示はある人物または公共の健康や安全に対する重大で差し迫った脅威の予防または軽減のために必要であり、当人（または当人たちが脅威の対象であるなど、脅威の予防または軽減が可能であると、誠意をもって信じる場合に、これが適用されます。また、この開示は、適用法および倫理基準に合致していなければなりません。参照 45 C.F.R. § 164.512(j)(1)(i)。

5. 治療、支払い、ヘルスケア業務への開示に制限はありますか？

はい。以下がその例です。

ヘルスケア提供者が、あなたからの依頼により機密保全に同意した情報。

この情報をあなたの承諾なしに開示できるのは、あなたが緊急医療を必要とする場合のみです。

精神療法記録

精神療法記録はあなたの承諾無しに、開示できません。例外として、あなたに治療を提供している機関の精神治療研修プログラムに参加している他の治療提供機関には公開できます。

精神療法記録は、個人、またはグループ、共同、家族のカウンセリング・セッションでのあなたの会話の内容を記録または分析した記録であり、あなたのほかの医療記録からは区別された記録です。これは、大変限定的なカテゴリーです。精神療法記録には、投薬記録、入院または

退院サマリー、看護記録、医療報告書、またはサービスを保険会社に請求するために必要な情報など、その他の記録は一切、含まれません。

メンタルヘルス/発達障害サービスおよび治療に関する情報。

ランターマン=ペトリス=ショート法およびさまざまな州および地方自治体の健康および発達障害プログラムの下で精神医療サービスを提供している場合、その過程で入手された情報および記録は、以下の場合を除き、あなたの承諾なしに、治療提供施設外に開示することはできません。緊急医療のためにその情報の開示が必要な場合は、例外です。また、あなたの医療上または心理上の責任をもつ治療提供者には、開示できます。

薬物使用情報

薬物およびアルコール使用情報は、緊急医療を除き、あなたの承諾無しに当該ヘルスケア提供者組織外の提供者に公開することはできません。さらに、ヘルスケア提供者が連邦政府の補助金を受けている場合、薬物およびアルコール使用情報は、緊急医療の例外を除き、あなたが複数のプログラムに登録することがないように、200 マイル以内の中央登録所、デトックスまたは治療プログラムに開示できますが、この例外を除き、これ以外であなたの承諾なしに、当該提供者の組織以外の提供者に、公開することはできません。

HIV テスト情報。

HIV テスト情報は、治療目的のためにあなたのヘルスケア提供者に対して、また、感染症報告システムの一環として郡に対して開示される以外には、開示することはできません。

6. 私の健康情報を開示するよう誰に依頼できますか？

ほとんど誰にでも。これには、ヘルスケア提供者、あなたのヘルスケア代理人（永続的委任状に基づいて代理人を指定している場合）、弁護士またはあなたが支援を求めたその他の正式代表者、友人または家族が含まれます。あなたはまた、自分の健康情報を点検し、写しを入手することができます。

あなた、またはあなたの正式代表者が、あなたの記録を点検し写しを入手するには、書面で依頼を行う必要があります。H&SC §123110(a)、(b)。写しの依頼はコピーすべき記録を特定していなければなりません。H&SC §123110 (b)。

ヘルスケア提供者は、書面による依頼を受領後、5 営業日以内の通常の営業時間中に記録へのアクセスを許可しなければなりません。H&SC §123110(a)。あなた、またはあなたの正式代表者がファイルのすべて、または一部の写しを依頼した場合、ヘルスケア提供者は、書

面による依頼を受領後、15 日以内に写しを提出しなければなりません。H&SC §123110 (b)。

依頼者に記録の写しを渡す前に、提供者は依頼者に支払いを求めることができます。コピー費は、1 ページ 25 セント、またはマイクロフィルムからコピーした記録の場合には1 ページ 50 セントを超えないものとします。さらに記録の入手を可能にするために発生した相応の額の事務手数料費用が加算されることがあります。H&SC §123110 (b)。

さらに、ヘルスケア提供者は、患者の記録へのアクセス依頼に従ったサマリーの準備にかかった実際の時間および実費に基づいて、「相応の料金」を課すことができます。H&SC §123130(f)。

しかしながら提供者は、記録の依頼と請求の証明が書面で提出された場合、社会保障身体障害保険(SSDI)、追加保証所得 (SSI) または Medi-Cal 給付への請求に必要な写しに課金することはできません。H&SC §123110(d)(1)。記録は、書面による依頼から 30 日以内に提供されなければなりません、。H&SC §123110(f)。記録の関連部分の写し一部のみは、無料で提供されなければなりません。H&SC §123110 (d)(2)。「関連」記録とは、給付の最初の適用日から始まり、請求により最終決定がなされた日で終わる記録です。H&SC §123110(d)(1)。提供者は、患者が私的な弁護士(非営利法的サービス機関以外の弁護士)によって代表されている場合には、無料で記録を提供する義務はありません。H&SC §123110(d)(3)。請求が成功した場合、提供者は上記に特記した価格で患者に記録への支払いを求めることができます。H&SC §123110(e)。

7. 私の健康記録を点検したりコピーする権利には制限がありますか？

はい、制限がいくつかあります。一般的に言って、アクセスにより誰かの生命、または身体的安全が危険にさらされる可能性がある場合にのみ、アクセスを否定することができます。

HIPAA 法においては、ヘルスケア提供者が記録へのアクセス許可を拒否する場合には、書面による拒否の提供が義務づけられています。書面による拒否には、次の情報が含まれていなければなりません。

- a. 拒否の根拠。
- b. 提供者が指定した認定ヘルスケア専門家による審査を受ける権利(審査の権利をどのように行使するか)の説明を含みます)。

- c. 提供者に苦情を提出する権利、および保健省、公民権社会福祉事務所に苦情を提出する権利。

カリフォルニア州は、提供者に「内密に」提出された情報へのアクセスは他のヘルスケア提供者または患者以外の人物に与える必要はないと規定しています。連邦法 HIPAA 法のプライバシー規制は、開示が「合理的にみて情報源を明らかにすると思われる」場合にのみ、この情報を公表しないでよいと規定しています。164.524(a)(2)(v)。

8. 私の記録に正確ではないことが含まれている場合、記録を修正するよう提供者に求めることができますか？

はい。まず最初に、記録を修正するようあなたから提供者に要請しなければなりません。提供者はあなたの依頼が書面によるものであり、依頼された修正の理由がそこに含まれていることを義務づけますが、提供者はあなたが依頼をする前に、こうした必要に関しあなたに通知する義務があります。修正の依頼に時間制限はありません。記録が存在する限り、修正を依頼することができます。

提供者は、60 日以内にあなたの依頼に関して行動しなければなりません。提供者があなたに書面で遅延の理由と、行動が完了する日付を通知した場合には、提供者は 30 日間延長することができます。

提供者があなたの記録の修正に合意した場合、提供者は最小限でも、修正すべき記録を特定し、その記録に修正を加えるか、修正へのリンクを提供しなければなりません。また、提供者は修正がなされたことをあなたに通知し、問題の記録を受け取った他の人たちに知らせるようあなたの承諾を得なければなりません。提供者は、問題の記録を受け取ったとあなたが提供者に知らせた人々、および当該情報をもっており、その情報に基づいてあなたに不利益をもたらす可能性がある人と提供者が知っている人々に、修正を提供しなければなりません。45 C.F.R. § 164.526(c)(3)。また、修正を受け取った提供者は自分が所有している記録を修正しなければなりません。

提供者は、記録が正確で不備がないと信じる場合には、あなたからの修正依頼を拒否することができます。また提供者は、問題の記録を作成したのが提供者でない場合（記録作成者が修正依頼に対してもう行動を起こせない状態にある場合を除く）、または提供者が問題の記録を所有していない場合、あるいはあなたにその記録へのアクセス権がない場合に、あなたからの修正依頼を拒否することができます。

提供者はあなたからの記録の修正依頼を拒否する場合、あなたに書面で拒否を知らせなければなりません。書面による拒否には、次の事項が含まれていなければなりません。

- a. 拒否の根拠(例、記録は正確で不備はないと提供者が信じている)。
- b. 拒否に合意しないという表明を提出する権利があなたにはあるという通知、ならびにその表明の提出方法。
- c. 拒否に合意しないという表明をあなたが提出しない場合、提供者に、あなたの修正依頼および提供者の拒否の提供、ならびにこの記録の将来の開示を依頼することができます。
- d. 提供者、または保健省、公民権社会福祉事務事務所(OCR)に苦情を提出する方法の説明。

提供者は、不合意の表明の「長さを相応に制限する」ことができますが、最大 250 ワードまでは許可しなければなりません。提供者はあなたの不合意表明に書面での反論を準備することができますが、提供者はあなたに写しを提供しなければなりません。提供者があなたの医療記録を開示する場合、提供者は開示の中にあなたの不合意表明を含めなければなりません。

さらに、HIPAA 法の要件とは食い違いますが、カリフォルニア州法ではあなたの記録内のあらゆる事項または説明において、あなたが不完全または正しくないと信じることについてヘルスケア提供者に書面で補遺を提出することをあなたに許可しています。補遺は、あなたの患者記録の中で不完全または正しくないとする事項ひとつにつき最大 250 字以内の説明に限られます。また、補遺を記録の一部として加えることをあなたが望んでいることが書面で明示されなければなりません。

9. 私の権利が侵害された場合、何ができますか？

当該医療サービス提供者に苦情を提出できます。提供者は、記録へのアクセス拒否または修正拒否に関し HIPAA 法に基づいて苦情処理を行わなければなりません。また、あなたはあなたの提供者のライセンス機関にも苦情を提出できます。ヘルスケア提供者のライセンスに関する情報は、以下で入手できます。

<http://www.cdph.ca.gov/services/Pages/ComplaintsCaliforniaHealthCare.aspx>
and <http://www.mbc.ca.gov/Consumers/#Complaint>

連邦の HIPAA 法のプライバシー規制への違反の苦情は、保健省、公民権社会福祉事務事務所(OCR)に提出できます。住所は以下の通りです。

Office for Civil Rights
U.S. Department of Health & Human Services
90 7th Street, Suite 4-100
San Francisco, CA 94103
(415) 437-8310
(415) 437-8311 (TDD)
(415) 437-8329 ファックス

OCR は、苦情提出用紙を提供しています。この苦情用紙は、以下のウェブサイトでも入手できます。 <http://www.hhs.gov/ocr/privacyhowtofile.htm> 苦情は、あなたが違反を知ってから 180 日以内に書面で提出されなければなりません。苦情には、苦情の対象である提供者の名前と、規制に違反する行動または脱落の説明が含まれていなければなりません。OCR は民事および刑事の罰金を科すことができますが、個人の金銭的損害を補償することはできません。追加の HIPAA 法情報は以下で入手できます。 <http://www.hhs.gov/ocr/hipaa/>

苦情提出に関して支援が必要な場合、また苦情用紙に関する質問は、以下宛にお電話ください。1-800-368-1019

HIPAA 法に基づく権利をあなたが行使したことに対し、提供者が報復することは許されません。

カリフォルニア保健社会福祉法に意図的に違反するヘルスケア提供者は、100 ドルの罰金およびライセンスの停止または取消を含むけれどもそれに限定されない処罰の対象になる可能性があります。さらに、患者または患者の代表者は記録へのアクセスを求める訴訟を起こすことができます。勝訴当事者は、訴訟費用と相応の弁護士料金を得る資格があります。

またあなたは、ライセンスを与えられた提供者が廃業しあなたの記録を廃棄した場合、実質的損害賠償金を求めて提訴することができます。(廃業する提供者は最低7年間、かつ最低、個人が 19 歳になるまで、記録を保持することを義務づけられています。カリフォルニア州法および連邦法の HIPAA 法プライバシー規制への違反は、当該の州法および規制が医療サービス提供者の側のケア義務を確立しているため、提供者に対し金銭的損害を求める過失訴訟を生む可能性があります。

10. 詳細情報をどうやって入手できますか？

U.S. Department of Health and Human Services(米国保健社会福祉省)、Office of Civil Rights (OCR)(公民権局)に大変優れたウェブサイトがあります。

<http://www.hhs.gov/ocr/privacy/index.html>

カリフォルニア州の Office of Health Information Integrity (OHII) にも、優れたウェブサイトがあります。<http://www.ohii.ca.gov/calohi/PrivacySecurity.aspx>

Center for Democracy and Technology のヘルスプライバシーに関するウェブサイトにも有益な情報があります。<https://www.cdt.org/issue/health-privacy>

DRC には、ヘルスケアのプライバシーとアクセスに関する有益な出版物があります。<http://www.disabilityrightsca.org/pubs/PublicationsHealthBenefits.htm>

ご意見をお聞かせください！本ファクトシート読了後、この短い調査に参加してフィードバックをお寄せください。

英語版：<http://fs12.formsite.com/disabilityrightsca/form54/index.html>

スペイン語版：<http://fs12.formsite.com/disabilityrightsca/form55/index.html>

Disability Rights California は、多数の財源から資金を得ています。資金提供者の完全なリストは、以下をご覧ください。<http://www.disabilityrightsca.org/Documents/ListofGrantsAndContracts.html>

California Mental Health Services Authority (CalMHSA: カリフォルニア州精神保健サービス局) は郡政府の一組織で、個人、家族、および地域社会の精神保健改善に取り組んでいます。CalMHSA が実施する予防と早期介入は、住民投票で認められた「精神保健サービス法(提案 63 号)」を介して郡から資金を得ています。提案 63 号は、以前は十分なサービスを受けられなかった人口層およびカリフォルニア全域の多様な地域社会に精神保健サービスを拡張するために必要な資金と枠組みを提供しています。



WELLNESS • RECOVERY • RESILIENCE

